

2020 6/9

No.2116

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
—神奈川政経懇話会—



横浜港・南本牧ふ頭を出港するコンテナ船は、横浜経済を支える。満載されたコンテナは一見すると立体パズルの「ルービックキューブ」か積み木のようだ。



## contents

視点点描	3
観光客が消えた箱根	
社会	4
持続的な支援体制の構築を コロナ禍の高齢者的生活	
新型コロナウイルス	6
普及し始めたオンライン面会 感染防止、介護施設・病院で	
社会	8
アルバイトの苦学生を直撃 後手後手の政策で窮地に	
国際	10
謎深まるコロナウイルス感染源 中国内の報道から検証	
政治	12
国際的な連携強化が不可欠 コロナ禍対策で茂木外相講演	
政治双眼鏡	14
異様な「朝令暮改」政治 読み違えた世論動向	
NNAアジア経済リポート	15
くらし2020	16
生活困窮者に医療を保障	
企業最前線	18
開設相次ぐ水素ステーション 主要機器の生産・販売も本格化	

### 事務局だより

神奈川政経懇話会では8月の会員名簿発行に向け、会員情報の確認作業を進めています。送付済みの確認用紙に必要事項を記入し、7月1日までにファックス(045-226-2122)で返送ください。

【お知らせ】神奈川政経懇話会ではホームページ([www.kanagawa-seikon.jp](http://www.kanagawa-seikon.jp))に会員コーナーを設けました。新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな情報を掲載します。問い合わせは事務局☎045(226)2121。

# 視点



## 観光客が消えた箱根

年間2千万人以上が訪れる県内  
有数の観光地・箱根。穏やかな陽  
気には恵まれ、例年なら稼ぎ時は  
必ずだつた春の光景が、今年は一変  
し、施設の休業も相次いだ。

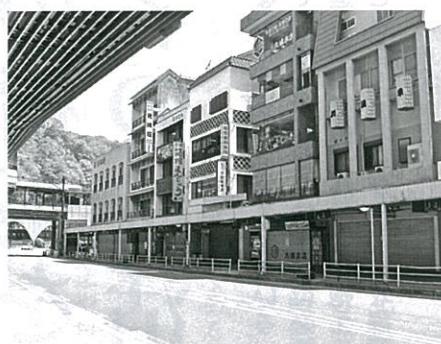
「ゴールデンウイーク（GW）

は箱根の観光を控えてほしい」。  
緊急事態宣言が出て約2週間後の

1日現在）にとどまつていて。

町観光協会によると、町内にあ

は団体客やインバウンド（訪日外国人客）のキャンセルが相次ぎ、前年同月比で5割ほどだつた。来訪の自粛を呼び掛けた4月下旬以降の観光客はさらに減り、5月26日の箱根湯本駅の人出は1ヶ月の休日の3割強にとどまつた。休業する旅館やホテルは約8割に上つたとみられ、箱根ロープウェイと芦ノ湖の遊覧船は運休、観光施設も臨時休業した。



閑散とした箱根湯本駅前＝5月2日

4月23日、地元関係者が緊急アピールをした。住民らへの感染を不安視しての対応だが、同席した山口昇士町長は「観光立町としてした。新型コロナウイルスの感染防止のための自粛で観光客が激減し、施設の休業も相次いだ。

根は例年、観光客でにぎわう。年間2126万人が訪れた2018年には、この2カ月で計425万人が春の箱根を楽しんだ。それに、関係者の落胆は大きい。特に深刻なのがインバウンドの落ち込みだ。外国人客は近年、増加傾向にあつた。18年の宿泊客は全体の13%に当たる約60万人。それが、今年は韓国、中国に続き、欧米系の観光客もほとんど姿を消した。政府が入国制限を続ける限り、事態の好転は難しいだろう。

緊急事態宣言は解除されたが、第2波、第3波を抑えるには今後もさまざまな感染症予防対策が求められる。政府が提唱する生活様式の変化に加え、外国人客が再び戻ってくるのか。箱根の観光業界も「コロナ後」への対応を余儀なくされている。

（神奈川新聞社湘南・西湘総局長

佐藤 浩幸）